

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 令和8年1月5日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		収納スペースをできるだけ活用し、広いスペースを確保できるように工夫している
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	個々の適正に応じたプログラムを考えながら落ちていた環境で療育ができるよう工夫している	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	階段の上り下り時は必ず職員が下りてくる子供と向かい合わせで階段をおりる事を決まりとしている	滑り止めの設置・注意勧告
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	常に備品類はアルコール消毒をしている	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0		トーンダウンできるスペースを設けている
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3		非常勤の指導員のシフトの都合で目標設定と振り返りが全員同じタイミングで参加できな事がある
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日1時間程度の目標設定と振り返りを行っている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	併設する就労支援B型事業所の管理者が、毎日のミーティングに参加し評価を行っている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	事例検討会や外部講師を招いた研修会を定期的に行っている	シフトの関係上、限られた数名の職員しか参加することができない
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	4		今年度からはインスタグラム等で活動内容を公表していきたい
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	保護者のニーズを考慮しながら客観的に分析し検討を重ねて計画を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	個別支援計画は指導員が業務前に確認する事を習慣づけしている	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	日々の療育記録による意見交換や子どもの特性についての行動観察を日々共有している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	5		家族支援、移行支援、地域支援・連携については支援が乏しい為、今後はそれを踏まえて支援内容を検討していくように努めていきたい
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	活動担当チームで週1回立案行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		各チームが立案したプログラムを互いに評価していく機会を設ける

供 應 機 関	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		個別のSTや集団のSTを組み合わせながら支援している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前に必ず打ち合わせと役割分担を行い確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	支援終了後ではなく翌日に前日の振り返りと反省を行い改善点を上げ共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	3		療育記録に支援の記録を詳しく画像を交えて記入している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	3	半年に1度のモニタリングは必ず行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	5	「4つの基本活動」のうち地域交流の機会の提供がなかなか支援に組み込める機会が少ない	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	通所時のおやつを事業所内で自分で選び買い物練習をしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達管理責任者が必ず出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	6		現状、あまり連携は取れていないので今後は連携していけるよう努めていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	3	学校お迎え時に可能な限り学校行事や下校時間の変更の確認を行い、必要に応じて各学校に電話連絡して情報共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	7	支援会議等が開催されれば、参加し情報共有しているがそれ以外は保護者からの情報だけに頼っている	今後は積極的に保育所や幼稚園等にも出向き情報共有していくよう努める
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5	障害福祉サービスへの引継ぎは、卒業前の支援会議で行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9		今後は積極的に研修に参加できるように努めたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	6		今後もできるだけ多く交流できるように計画していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9		自立支援協議会への参加に努めたい
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時や連絡帳を通じて、子どもたちの様子については、密に共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9		ペアトレーニング研修は実施できるよう検討している
機 関 の 連 携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	6	面談時に支援プログラムについては丁寧に説明しているが、運営規定については都度説明はできていない	今後は面談時に運営規定や利用者負担額も併せて説明するように努める
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	できるだけ子供や保護者の意思を尊重しながら作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	必要に応じて可能な限り、相談や助言は行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	9		今後は父母やきょうだいが交流できる機会を設けるよう努めます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情についてはできるだけ迅速に対応するよう努めています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月の定期通信により、子供達の様子や活動内容について発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取り扱いには十分注意しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	ホワイトボードを用いて意思の疎通を図れるよう工夫している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	コロナ前に地域住民を招待する企画を立てていたが、実現できずにいる。	今後は地域住民を招待する企画を検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	5	感染症に対する訓練は定期的に行っているが、事故・防犯訓練が現状あまりできていない	今後は、事故・防犯に関する訓練を積極的に実施していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	定期的に災害・避難訓練は行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	服薬やてんかん発作やアレルギー体質の子どもの状況は共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	9	保護者からの申し出により把握している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	安全計画は作成し常に必要な措置については検討を重ねている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	4		今後は安全計画に基づく取組内容について保護者への周知に努めます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット事案が発生した時は事業所内ですぐに共有し、再発防止策を都度検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止の疑い事案については、毎日のミーティングで都度振り返り、適切な対応であつたかを検討している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	現在身体拘束が必要な利用者は該当なし	